



# リトルワールドキャンプ 13 報告書

2016/8/17

静岡県立大学公認サークル  
リトルワールドキャンプ実行委員会

## 1. 私たちのミッション

静岡県には、様々な国の文化をもった方々が住んでいます。しかし、日常生活でその文化に接する機会はあまり多くありません。そこで、様々なレクリエーションを通し、子どもたちが異文化に興味を持ち、理解する場を作りたいという思いから始まったのが、リトルワールドキャンプ（多文化共生キャンプ）です。「私たちは多文化共生キャンプを企画・運営することによって静岡県内に住む子どもたちが身近な異文化との関わりを意識して、それを受け入れていけるようなきっかけを提供します」というミッションのもと毎年改善を重ねてキャンプを行っています。

## 2. 活動内容

平成 28 年 8 月 12 日から 14 日に富士市立少年自然の家にて、2 泊 3 日でキャンプを行いました。参加者は小学 4,5,6 年生 28 名、大学生スタッフ 32 名、通訳 1 名、顧問 1 名、延べ 60 名でした。一日目にははじめましての会、運動会、多国籍料理作り(野外炊飯)、ナイトウォーク、二日目にネイチャークラフト、レクリエーション、キャンプファイヤー、三日目にはウォークラリー、お別れの会を行いました。以下、各プログラムの詳細になります。

### <一日目>



#### はじめましての会

施設に到着後、まず、はじめましての会を行いました。キャンプ参加者のお子様たちが最初に交流する時間です。この会では、名前リレーと大漁旗（写真:タイトル左）作りを通して、楽しみながら友達になることができました。班の名前を決めたあと、名前リレーを通して自己紹介をし、お互いを知ることから始めました。名前リレーでは、名前と趣味をジェスチャー付きで相手に伝えました。日本のお子様達と外国とつながりのあるお子様たちが、お互いの顔や名前を覚えることのできた良い機会となりました。最初は緊張していたようでしたが、徐々に笑顔が増えていきました。はじめましての会でお子様たちの緊張はほぐれ始め、徐々に打ち解けることができました。



### 運動会

どを使用するものや運動が得意でない子にも勝てるチャンスがあるものもあり、全員が活躍できました。

次のプログラムは運動会でした。体育館で、3チームに分かれて対決しました。バトンタッチごとに段ボールを増やして運んでいく「宅配便リレー」や、二人組でさまざまな競技を行う「障害物競走」をしました。お子様達はチームで協力し合ってどの競技にも一生懸命に、また真剣に取り組んでいました。また、友達を応援する様子も見られ、とても盛り上がりました。競技の中には、ポルトガル語や韓国語、イタリア語な



### 野外炊飯

祀られている祠までお札を置きにいきました。お子様たちは、昼とは異なる山の空気を味わい楽しんでいました。夜ならではのスリル感を共有したこともあり、仲はより深まったようでした。

次のプログラムは野外炊飯でした。野外炊飯ではエジプト料理「コシヤリ」とスペイン料理「チュロス」を作りました。お子様達が主体となって役割分担をしました。協力して作ったおかげで、どの班もおいしく出来上がりました。野外で薪をくべて火をつけるところから始めた調理は新鮮だったようで、とても楽しそうにしていたのが印象に残っています。

一日目最後のプログラムはナイトウォークでした。ナイトウォークでは班ごとに夜道を歩き、大淵小僧が

### <二日目>



### ネイチャークラフトの様子

様たちの中で交流がうまれていました。レクリエーションは、外で「木の中のリス」という遊びを行ったあと、室内でウォークラリーをしました。「木の中のリス」ではポルトガル語と日本語を使用し、遊びの中で異文化を意識するこ

午前中はネイチャークラフトで竹とんぼを作りました。どのお子様も、熱中して作っていました。友達同士で教えあう場面も見られ、さらにお子様たちの絆が深まったようでした。

午後は、ネイチャークラフトで作った竹とんぼを飛ばした後、レクリエーションをしました。竹とんぼを飛ばす場面では、飛距離を競い合ったり、友達のを借りて飛ばしてみたりと、自然とお子



### 室内ウォークラリー

とができました。室内ウォークラリーでは、生活班ではないグループで行いましたが、協力してクイズをしていくうちにこれまで交流が少なかったお子様とも仲を深めることができました。



キャンプファイヤー

ダンスを教えあい、みんなで楽しく踊ることができました。

夜にはキャンプファイヤーを行いました。「じゃんけん列車」や、チームの仲間とランダムに手をつなぎ絡んだ手をほどいていく「人間知恵の輪」をして、最後には全員で円になってジンギスカンを踊りました。じゃんけん列車では、じゃんけんをブラジルの方法でしました。身近なじゃんけんから異文化を感じるすることができました。人間知恵の輪では、手をつなぐことでよりお子様たちの仲が親密になったように感じました。ジンギスカンでは、お子様たち同士で

#### <三日目>



ウォークラリー

最初のプログラムはウォークラリーでした。ウォークラリーでは、森を歩きながらチェックポイントを回り、チェックポイント毎に出されるクイズを班の仲間で協力して解きながらすすみました。班の仲間との絆は三日間を通して十分にはぐくまれたようで、初日や二日目以上にお子様たちが言語や文化の壁を越えてコミュニケーションを取り合って問題を解こうとしていました。

キャンプ最後のプログラムはお別れの会でした。この三日間の感想発表とミニ大漁旗制作をしました。

感想発表では、キャンプ中の楽しかったプログラムや、文化や言語を越えて友達を作れたことが伝わってきました。ミニ大漁旗制作では、友達の小さな旗型の画用紙にメッセージを書きました。お子様たちは多くの友達にメッセージを書きたいようで、とても微笑ましかったです。また、三日間、お子様達が文化や国籍関係なく、新しい友達を作り、キャンプを楽しんでくれたようで、スタッフ一同とても嬉しかったです。



お別れの会

### 3. 事前準備

災害時やけがの対応のための緊急対策マニュアルを作成しました。7月23日には、キャンプ参加者の保護者説明会を静岡県立大学で行いました。

8月9日には、消防署の方々に静岡県立大学までお越しいただき、安全講習会と救急講習会を開いていただきました。企画スタッフとボランティアスタッフが参加しました。AED

の使い方や胸骨圧迫、人工呼吸などの一時救命処置の方法を教えてくださいました。また、キャンプ前日には、キャンプに参加するスタッフ全員で集まり、結団式を行いました。この式には顧問の津富先生も参加していただき、全員の意識を高めることができました。

お問い合わせ・ご質問

静岡県立大学公認サークル リトルワールドキャンプ実行委員会

〒422-8526 静岡市駿河区谷田 52-1 静岡県立大学 リトルワールドキャンプ

Email [little\\_world\\_camp@yahoo.co.jp](mailto:little_world_camp@yahoo.co.jp)

HP <http://littleworldcamp.jimdo.com/>